

ウェブコーパスを用いた 「大丈夫です」の使用に関する実態調査

— 勧誘に対する拒否としての「大丈夫です」—

芦 木 亜彩湖

1. 問題意識

最近「大丈夫」について言及している雑誌の記事等をよく見かける。主に新用法について述べているものであり、若年層の用法に疑問を呈している。こういった記事では、「お茶のお代わりはいかがですか?」「大丈夫です」といった【勧めに対する拒否】が例としてよく挙げられる。

本来「大丈夫」は「心配がない」や「まちがいがなく、確かなようす」といった意味であり、一般的には問題が想定される場面で「問題がない」というような意味で用いられる。しかし、最近は、特に問題が想定されないような場面でも、「大丈夫」が用いられている。こういった用法を新用法とし、それについて記された論文も複数見られた。

また、次のような用例も非常に興味深い。ある芸人のコントで見られた用例である。⁽¹⁾

(1) (店員役が客役にカラオケで小道具を使うか尋ねる)

客役「いや俺大丈夫です」

店員役「あ、これで大丈夫ですか」(小道具を渡そうとする)

客役「いやこれいらないます」

(1) では、客役が、不要の意味で「大丈夫」を使用しているのに対し、店員役は「これで問題ない」、つまり「必要である」と解釈している。このように、

(2)

「大丈夫」には複数の用法があり、時に誤解が生じることもある。

(1) の他にも、【申し出に対する拒否】(例：「荷物持ちましょうか?」「大丈夫です」)や【許可求めに対する承諾】(例：「隣に座ってもいいですか?」「大丈夫です」)等、さまざまな用法が考えられる。したがって、複数の用法を整理する必要がある。その上で、実生活でよく用いられている用法を明らかにしたい。

また、現在若者の間で、【勧誘に対する拒否】として「大丈夫です」が用いられているようである。筆者は20代であるが、「飲みに行こうよ」と誘われた際、「あっ、大丈夫です」のように断ることがしばしばある。実際に、インターネット上の動画投稿サイトでも、【勧誘に対する拒否】の用例が見られた。以下にその用例を示す。⁽²⁾

- (2) A「よかったら僕とオレンジジュース水割り飲みに行きませんか?お願いします」
B「あ、大丈夫です」

Aが「飲みに行きませんか?」と【勧誘】しているのに対し、Bは【拒否】として「あ、大丈夫です」と発話している。さらに、AはBの応答を聞いてすぐに【拒否】されていると理解している。

Aは10代、Bは20代であり、若者が【勧誘に対する拒否】として「大丈夫」を用いることは、筆者の周囲だけではないようである。

もちろん、このような用法に違和感を覚える層も存在する。周囲の30代以上の知人に尋ねたところ、「何が『大丈夫』なのかよく分からない」や「『大丈夫』は【勧誘に対する承諾】なのではないか」といった意見を聞いた。

本稿では【勧誘に対する拒否】の用例も合わせて提示したい。

2. 先行研究と研究目的

本章では、「大丈夫」に関する先行研究について述べる。全3節構成であり、第1節では、辞書の記述を確認する。第2節では、「大丈夫」に関する学術論文を確認する。第3節では、学術論文ではないものの、「大丈夫」を扱った雑誌記事や、新聞の投書等を確認する。最後に第4節では、1章の問題意識と、2章の先行研究を踏まえて、研究課題を設定した。

2-1. 「大丈夫」に関する辞書の記述

『日本国語大辞典』⁽³⁾には、「きわめて丈夫であるさま。ひじょうにしっかりしているさま。ひじょうに気強いさま。丈夫（じょうぶ）。」、もしくは「あぶなげのないさま。まちがいないさま。」と記されている。

しかし、『明鏡国語辞典』⁽⁴⁾には、このような従来の用法に加え、俗語として、以下の用法が記載されている。

(3) 相手の勧誘などを遠まわしに拒否する語。結構。

『お一ついかが？』『いえ、一です。』『砂糖は二個？』『いえ、一です。』
そんな気遣いはなくても問題はないの意から、主に若者が使う。危なげがない場面で使う用法で、本来は不適切。

2-2. 「大丈夫」に関する研究論文

次に、「大丈夫」の先行研究に移る。現代日本語における「大丈夫」に関する主な先行研究は砂川（2005）、城田（2007）、山下（2013）、高橋・竹下（2014）、尾崎（2016）、川口（2017）、菊池（2018）が挙げられる。

砂川（2005）は問いかげの「大丈夫」（例：コーヒーで大丈夫ですか）と、応答の「大丈夫」（例：「カバーはお付けしますか？」「大丈夫です」）を対象としている。どちらの用法も、辞書的用法を基に、問題を想定している場面で用いられると述べている。しかし、近年、問題を想定していない場面でも、「大丈夫」が用いられるようになっており、「大丈夫」の使用の拡大について注目している。

城田（2007）も、「大丈夫」の新用法について取り上げている。20代（以下、大学生）と40代から60代前半（以下、親世代）を対象に、アンケート調査を用いている。

調査結果では、問題が想定出来ない状況で「大丈夫」を使用することに関して、親世代も大学生も、「使わないし、違和感もある」と回答していることが明らかとなった。大学生の方が、「違和感もある」の回答率は下がるものの、大学生の用法は、親世代からの連続性が見られるとしている。

山下（2013）も、アンケートを用いて、「大丈夫」の使用実態を明らかにしている。

20代から80代までを3つのグループ（若者、中年、シニア層）に分け、「大丈夫」を使用した9場面（「大丈夫」が用いられていない2場面も合わせて、全11場面）を提示し、自分がその場面で使うか否か、他の人が言うのを聞いて

(4)

て気になるか否か（選択式回答）、他の人が言って気になる場合は、自分ならその場面で何と言うか（記述式回答）を調査している。

調査の結果、若者層では、「自分は『大丈夫』を使わないが他人の使用は気になる」が有意に少なく、シニア層は有意に多いことが明らかとなった。そして、興味深いことに、中年層は多くの場面で、若者とシニア層の中間値をとっている。

このことから、「大丈夫」は一過性の流行である「若者ことば」とは言えず、ラ抜き言葉のように、「いずれ主流となる使い方の一過程を示しているのではないか」と指摘している。

また、シニア層においても、問題が想定出来る状況では、「大丈夫」の使用が許容されていることが分かった。

高橋・竹下（2014）は、「大丈夫」を「新しい配慮表現」とし、アンケートを用いて使用実態を調査している。

このアンケートの結果から、「従来から使われている用法（筆者注：辞書の用法）では、『大丈夫』に対する認識について世代間におけるズレは見られない」と述べている。

また、「若者世代では『大丈夫』を新たな意味で用いることが多く、従来の用法からより広げられた用法で『大丈夫』を使っている」と、用法の広がりについても言及している。

さらに、「『大丈夫』の新しい用法について、30代以上の世代も意味の理解はしているが、あまり使用しているわけではない」と述べており、世代間の連続性についても言及している。

尾崎（2016）は、岡山市内在住の、10代から70代までを対象に、アンケート調査を行っている。調査では、問いかけと応答の両方において、「大丈夫です」がどの程度用いられているのかを明らかにしている。

店員にお茶のおかわりはどうかと勧められて、断る場合、何と答えるか、を問う設問では、全体で約4割が「大丈夫です」を使用すると回答している。また、年齢別では、60-70代では約1割、40-50代では約3割、20-30代では約7割が使用すると回答している。この結果から、「大丈夫です」の使用において、世代間の連続性が明らかとなった。

応答表現において、アンケートの結果から、世代間の連続性が見られた。

また、尾崎氏は、「大丈夫」の用法が広がった要因について考察しており、この点が非常に興味深い。「大丈夫」は配慮表現の一種だとし、話し手が自分の不利益（すなわち問題のある状態）を想定し、その状態を気遣い解決しよう

という、従来なかった論理による対人配慮意識にもとづくのではないかと述べている。

川口 (2017) は、「今晚、一杯飲みに行くか?」「大丈夫です」という、【勧誘に対する拒否】の用法を取り上げた論文である。このような新用法 (川口 (2017) では、「断り用法」としている) は、「大丈夫」の意味変遷の過程でどのように位置づけられるかを、『日本国語大辞典』を用いて、考察している。

川口氏は、先行研究として、尾崎 (2016) を挙げ、想定される不利益に対して、単に「問題ない」と伝えるために、「大丈夫」を選択しているのだろうか、と疑問を呈している。そうではなく、「お気遣いは結構です」のように、相手の気遣いを丁寧に断っているのではないかと述べている。

さらに、「大丈夫」の用法が「心配しなくても大丈夫」というように、相手の懸念や心配を打ち消す配慮表現として機能しているとも述べている。したがって、「今晚、一杯飲みに行くか?」という「誘い」は、相手の気遣いに対して、「そのように気遣っていただくかなくても大丈夫です」、「どうぞお気遣いなく」と言って丁寧に断ろうとする配慮表現であると指摘している。まとめとして、相手の主観性により配慮するようになり、聞き手の心的態度への配慮がより強く見られるようになったことのあらわれであるとしている。

川口 (2017) は【勧誘に対する拒否】を考察している唯一の論文である。しかし、用いられている用例は『AERA』の「今晚、一杯飲みに行くか?」「大丈夫です」という用例のみである。また、コンビニ店員と客とのやりとりである、「こちら袋にお入れいたしますか。」「はい大丈夫です。」という用法や、「レシートお持ちになりますか。」「あ、大丈夫です。」といった用法、そして【勧誘に対する拒否】もすべて「断り表現」とまとめて考察しており、【勧誘に対する拒否】だけに視点を当てた研究ではない。

最後に、菊池 (2018) について述べたい。菊池 (2018) は、日本語母語話者と日本語学習者に同じ内容のアンケートを行い、両者における新表現の使用実態を明らかにしている。「大丈夫」以外にも調査対象はあるが、ここでの引用は「大丈夫です」のみに留める。

「大丈夫です」の設問は、コンビニで、「おはしおつけしますか?」という、店員の問いかけに対して、不要である旨を伝えるために、どのような発話をするか、というものである。

結果として、日本語母語話者は6割以上が「大丈夫」を使用することが明らかとなった。それに対し、日本語学習者は、4割ほどであった。これは、山下 (2013) と同様の結果であると述べている。また、菊池氏は3種類の新表現を

(6)

考察対象としたが、いずれの表現も母語話者の方が学習者より多く回答している。このことから、日本語学習者にとっては日本語の教材や授業で導入されている表現の方がなじみがあるのではないかと指摘している。

さらに、「大丈夫です」と回答した学習者は半数近くが日本での生活歴が3年未満であり、学習年数の長短が新表現の使用に影響があるとはかぎらないと述べている。その理由として、近年海外でも日本のドラマ、漫画、アニメ、音楽などに触れる機会が多くあり、それらのものに対する嗜好の度合いの差によって新表現に触れる可能性が異なるため、とまとめている。

2-3. 「大丈夫」に関する記事・投書

ネットニュースサイト「with news」では、2015年2月15日の記事『「大丈夫です」って、なにが大丈夫なの 気配り表現？言葉の乱れ？』（執筆：宮本茂頼）において、「大丈夫」について扱っている。内容は、朝日新聞の投書、『大辞林』や『広辞苑』、『明鏡国語辞典』を用いた辞書の記述、そして山下（2013）を引用し、「大丈夫」は、相手を気遣った表現であり、便利であると述べている。

『AERA』2016年2月15日号の記事（執筆：石田かおる）では、先行研究ではほとんど扱われていなかった、【勧誘に対する拒否】について言及している。

- (4) 50代の常連のお客さんが独りで店に来たので、どうしました？と聞くと、20代の若い部下を誘ったけれど断られたって。それはいいんだけど、その断り方が訳わからない。*今晚、一杯飲みに行くか？、って誘ったら*大丈夫です、って言われたって言うんだ。*大丈夫、なら来られるはずだろう。いったい何が大丈夫なんだ？

先行研究で多く論じられてきた新表現の「大丈夫」は、「コーヒーのお代わりはいかがですか？」「大丈夫です」のような、いわば【勧めに対する拒否】であり、『AERA』で紹介されているような【勧誘に対する拒否】はほとんど研究対象とされていない。前述した川口（2017）は『AERA』のこの用例を引用している。

日本経済新聞のインターネットサイト、「NIKKEI STYLE」でも、2017年9月28日の記事『「大丈夫」は本当に万能語？誤解や不快にご用心』（執筆：梶原しげる）で、「大丈夫」が扱われている。これは、NHK放送文化研究所主任研究員である塩田雄大氏のアンケート調査を元に、「大丈夫」の使用実態がまとめたものである。塩田氏のアンケートも興味深いのが、応答表現は扱われてい

ないため、本稿では引用しない。

この記事で最も興味深い点は、「大丈夫」の新用法を並べて紹介している点である。以下は記事内で紹介されている用例である。引用先など特に記されていないため、おそらく梶原氏による作例だと思われる。

- (5) 店員「ポイントカードは？」
客「大丈夫です」
- (6) ドラッグストア店員「レシートのほうは大丈夫だったでしょうか？」
客「大丈夫です」
- (7) スーパー店員「レジ袋は大丈夫ですか？」
客「はい、大丈夫です」
- (8) 保険勧誘員「お入りいただいてた入院保険はいかがでした？」
客「ああ、大丈夫でした」
保険勧誘員「この際、奥様の分もいかがですか？」
客「それは大丈夫です」

梶原氏は「大丈夫」を「イエスも、ノーも、必要も、不要も、うまいも、まずいも何でも表現できる万能言葉」としている。万能であるが故に、受け取り方がさまざま考えられるため、誤解が生じやすいと、その問題点も指摘している。

2018年9月号の『放送研究と調査』では、『『大丈夫』の境界線』という記事が掲載されている。(執筆：田中伊式) この記事でも『AERA』と同様、【勧誘に対する拒否】を紹介している。「留学生から聞いた話」として、以下のような話を記している。「週末に開かれる食事会に誘われ、『大丈夫です』と答えたら、その後、誘ってくれた相手から連絡をもらえなかった」というものである。

田中氏は、「勧誘」に対する婉曲的な否定が増えていると述べ、この新用法は「ケガはないか」と問われて「大丈夫」と返す本来の使い方に近いものがあるとも言えるとも指摘している。その理由として、「お気遣いいただくには及びません。どうぞ、ご心配なく」という意味で、言わんとすることに変わりはないと述べている。

さらに、梶原(2017)と同じように、「大丈夫」はOKなのかNOなのか分かりにくく、紛らわしいとも述べており、留学生などの日本語に不慣れな人たちを戸惑わせるだろうとまとめている。

また、研究者や記者ではなく、一般的な人々の間でも「大丈夫」の使用に疑

(8)

問を持っている様子が見られる。以下は、全て Yahoo! 知恵袋で見られたものである。

- (9) “あ、大丈夫です” ……という、言い方。最近よく使われている「大丈夫です」という言葉。何かを断る時に「大丈夫」は、おかしくないですか。大丈夫 = (イコール) OK と捉えるのが言葉の翻意かと……。⁽⁵⁾
- (10) 「大丈夫です」って、どういう意味だ？ 最近、大丈夫です、という言葉を使う意味で使っているように思えてならない。営業に行っても、客先で「大丈夫です」 = 結構です。いりません、という意味のようだ。⁽⁶⁾
- (11) 間に合ってる時に「大丈夫です。」と断るのは変ですか？「いりません」「必要ない」など断り方には色々ありますが私はトゲトゲしてるようで嫌です。日本語オカシイと言われたのですが変でしょうか。⁽⁷⁾

さらに、朝日新聞の投書欄である、「声」欄にも、「大丈夫」の使用に関して多くの意見が寄せられている。字数の関係で、ここではタイトルを並べるだけに留める。以下に示す。

- 「その日本語は『大丈夫』ですか」(2010年7月23日)
「大丈夫なの『大丈夫ですか』」(2012年1月13日)
「『大丈夫です』の使い方が変！」(2015年1月11日)
「『大丈夫です』で本当に大丈夫？」(2015年1月16日)
「『大丈夫』は柔らかな気遣い」(2015年1月25日)
「若者の言葉『大丈夫ですか』」(2015年12月13日)
「『大丈夫』の使い方は大丈夫？」(2016年6月21日)

いずれも全国から投稿されており、50代以上がほとんどである。最も古い投書は2010年のもので、それ以降度々話題になっている。いずれにしても、「大丈夫」が一般的にも興味深い研究対象であることは疑う余地がない。

「『大丈夫』は柔らかな気遣い」は、49歳の女性が投稿しており、これは、「大丈夫」を使用する理由について、「柔らかく伝えたい気持ちから広まった使い方ではないでしょうか。」と、「大丈夫」の新用法に関して寛容な姿勢を見せている。

それ以外は、「大丈夫」を「若者言葉」や、「言葉の乱れ」として、厳しい意見を投じている。例えば、「若者の言葉『大丈夫ですか』」では、「これも日本

語の乱れの一例なのかと案じつつ、『若者の皆さん、大丈夫ですか』と言いたくなくなってしまう。』と、「日本語の乱れ」と断言し、厳しく捉えている。

2-4. 研究課題

以上、先行研究を引用したが、先行研究を踏まえて、以下の2点を研究課題とする。

- ① 応答表現としての「大丈夫」の用法の整理し、実生活で使用されている用法を明らかにする。
- ② 新用法だと思われる、【勧誘に対する拒否】の実例を明らかにする。

まず、①について述べたい。「大丈夫」の新用法（辞書的用法以外の用法）に着目した先行研究は多いが、用法を網羅的に提示している先行研究は見つからなかった。したがって、本稿では最初に、用法の整理から始めたい。

さらに、先行研究ではアンケート調査が主であり、作例が多く使用されていた。本稿では実例を多く収集したいため、コーパスを用いた調査を行う。コーパスは実際の雑誌記事やブログ、小説など、さまざまな媒体から用例を収集しているため、ここで確認出来る用例は実例と言えるであろう。

実例を集めた上で、実生活で使用されている用法は、こういった用法があるのかを明らかにしたい。

次に、②について述べたい。本稿では、以下のような用法を【勧誘に対する拒否】とする。

- (12) 「今晚、一杯飲みに行こう。」
「大丈夫です。」

この用法に触れている論文は川口（2017）のみであるが、用例は石田（2016）の引用であり、実例の提示は不十分である。もちろん、研究課題が本稿と異なるため、仕方ないことではある。

本稿では、従来あまり提示されてこなかった、【勧誘に対する拒否】の実例を提示したい。

3. 調査するコーパスの選定

本稿では、用例の収集に、「筑波ウェブコーパス」(以下、「筑波」)を用いた。本章では、コーパスの選定理由を述べる。

まず、本稿では、使用するコーパスをウェブコーパスのみに限定した。本稿で扱う用法は、書き言葉よりも話し言葉で用いられると思われる。しかし、話し言葉コーパスでは、対象となる用例が見つけれなかった。そこで、俗語はウェブサイトからも見付けやすいと考え、ウェブコーパスを用いることにしたのである。主なウェブコーパスは、「筑波」と、「国語研日本語ウェブコーパス」(以下、「国語研」)の2つである。

両コーパスの、「大丈夫です」の用例数は、以下の通りである。なお、本稿では見やすさを優先し、表の数字は全て半角数字とした。

表 1. 各ウェブコーパスの「大丈夫です」用例数

	大丈夫です
筑波ウェブコーパス	20,894
国語研日本語ウェブコーパス	430,529

表 1 から、2つのコーパスの用例数の大きな差が明らかとなった。まずは、数の少ない「筑波」の方を採用し、用例の全数調査を行った上で、全体の傾向を把握したい。

4. 調査対象

ここでは、本稿の調査対象について述べたい。まず、筑波ウェブコーパスで「大丈夫です + a 」⁽⁸⁾の出現頻度を調査した。まず、1000例以上の用例をまとめたものが以下の表 2 である。

表 2. 1000例以上の用例

大丈夫です。	大丈夫ですか	大丈夫ですよ
10,360	5,431	2,195

1000例以上の用例は、「大丈夫です。」「大丈夫ですか」「大丈夫ですよ」であり、「大丈夫です」の全用例中、86%を占めている。最も多い「大丈夫です。」

は、全用例中の約半分であり、2番目に多い「大丈夫ですか」と比べても、大きな差がある。

次に、200例以上の用例をまとめたものを次の表3に示す。

表3. 200例以上の用例

大丈夫ですが	大丈夫です！	大丈夫です」	大丈夫です、	大丈夫ですね
932	438	355	252	239

なお、「大丈夫です！」の「！」は全角記号である。

次に、100例以上の用例を以下の表4に示す。

表4. 100例以上の用例

大丈夫ですの	大丈夫ですし	大丈夫ですと
119	104	103

次に、40例以上の用例を以下に示す。「大丈夫です）」が70例、「大丈夫です（」が74例、「大丈夫です。」が49例、「大丈夫ですけ」が43例であった。なお、「」）、「（」「.」の記号は全て全角記号である。

最後に、10例以上が「大丈夫です！」が28例、「大丈夫です。」が23例、「大丈夫です』」が19例、「大丈夫ですわ」が13例、「大丈夫です）」が11例、その他が10例であった。なお「」）、「.」、「）」の記号は全て半角記号である。

このうち、用例数が最も多い「大丈夫です。」と、3番目に多い「大丈夫ですよ」を調査対象とする。なお、2番目に用例数が多いのは「大丈夫ですか」であるが、応答表現と思われる「大丈夫ですから」は142例であり、ほとんどが、「大丈夫ですか？」といった問いかけの用例である。したがって、「大丈夫ですか」は、調査対象外とする。

次に、調査対象外の用例について述べたい。本稿では、応答表現を調査するため、以下に当てはまる用例は調査対象外とした。

- I. 当該の発話が、問いかけに対する応答として機能していない、または機能していることが確認できない用例

(13) 休みには公園や旅行など外出を増やしたら如何でしょうか。親子で色々な体験や楽しみを積んでください。大丈夫です。きっと良い子に育ちます。

(12)

Ⅱ. 直前に「大丈夫？」という問いかけがある用例

(14) (社労士 遠藤)

社会保険料の負担は結構重いですが、大丈夫ですか？

(相談者 A社長)

大丈夫です。どのみち加入しなければならないと思っていましたので。

Ⅲ. 「大丈夫です」が問いかけになっている用例

(15) アダプターに入れて持ってきてください。大丈夫ですよね？

また、用例によっては次のように問いかけが言いさしになっているものもある。

(16) Q6：

留守が多く商品を受け取れないのですが…

A：

お留守でも大丈夫です。

会員様宅へ配達用の保管庫を置かせていただき、

その中へ商品をお届けします。

(16) の場合、「受け取れないのですが…」に続く文によって分類が変わってしまう。

例えば、「受け取れないのですが、いいですか？」なら【許可求め】に、「受け取れないのですが、何か別の方法はありますか？」なら、【諾否疑問文】に分類される。

さらに、「受け取れないのですが、大丈夫ですか？」と続くのであれば、直前に、「大丈夫？」という問いかけがある用例となり、調査対象外となってしまう。

以上の問題を回避するため、本稿では、このような用例は【言いさし】という項に分類することにした。

5. 用例の分類基準

2章で確認したように、「大丈夫」の辞書的用法は、「まちがいない」や「心配はいらない」である。本稿の調査では、辞書的用法の他に、語用論的に、「承

諾」か「拒否」のどちらかに機能する用例も見られた。

したがって、本稿では「問題ない」に換言可能な用法を辞書の用法とし、「承諾」か「拒否」どちらかに機能する用法を、語用論的用法として分類した。

まず、辞書の用法は、【問題ない】という項目に分類した。次に、語用論的用法は、問いかけの文法形式に従って、以下の 11 項目に分類した。

- 【依頼に対する承諾】
- 【許可求めに対する承諾】
- 【勧誘に対する承諾】
- 【勧誘に対する拒否】
- 【勧めに対する拒否】
- 【申し出に対する拒否】
- 【可能形の問いかけに対する肯定】
- 【諾否疑問文に対する肯定】
- 【諾否疑問文に対する否定】
- 【言いさし】
- 【その他】

以下に、「筑波」で確認した用例を具体例として示す。なお (42) は該当する用例が確認できなかったため、筆者作例を再掲した。

【問題ない】(辞書の用法)

(17) 森原：これだけ油が付いているのにそれは無理、無理。

岡崎：大丈夫です。早速やってみましょう。

【依頼に対する承諾】：「～てもらえますか」等

(18) 現在加入中の保険の相談にも乗ってもらえますか？

はい。もちろん大丈夫です。

【許可求めに対する承諾】：「～でもいいですか」等

(19) Q10

普通に仕入れ(自己買い)をしてもいいですか？

A

もちろん大丈夫です。

【勧誘に対する承諾】：「一緒に～しませんか」等

(20) 「ちょっと一杯だけコーヒー飲みいきませんか？」

(中略)

「はい、大丈夫ですよ!」とあって、駅の近くのタリーズに入りました。

【勧誘に対する拒否】(筆者作例/再掲)

(21)「今晚、一杯飲みに行こう。」

「大丈夫です。」

【勧めに対する拒否】:「～の方がいい」等

(22)「●●さん、もしかしてどこか悪いんじゃないの?今、それほど忙しくないし、無理しないで仕事休んで病院へ行ってきたよ。」と言われました。

とても優しい言葉に感謝しつつも、生活を支えているという頭が常にある私には、「会社を休む」なんて問題外。「ありがとうございます。でも大丈夫です。ちょっと目が回るだけなんです。土曜日にも病院へ行ってみます。」と話しました。

【申し出に対する拒否】:「～しようか?」等

(23)「カイトさん、セルフイちゃんも。今クッキーを焼いてるんですけど、お二人とも食べますか?」「食べる食べる。あ、私も手伝おうか?」そう言うセルフイに対し、桜がニッコリ笑いながら答えた。「大丈夫ですよ。メルティちゃんも手伝ってくれていますし」

【可能形の問いかけに対する肯定】:「～できますか」等

(24) 寝たきりなのですが、利用できますか?

大丈夫です。

【諾否疑問文に対する肯定】:「～しますか?」等

(25) 木だけになってしまいました、再生するのでしょうか?

[2001.4.1]

A 大丈夫ですよ。

【諾否疑問文に対する否定】

(26) しばらく部活や試写会には参加できないのですが、長期間ログインしないと資格は消滅しますか?

いいえ、大丈夫です。

【言いさし】

(27)「でも、こっちは関越・・・」

「大丈夫です。私に全てお任せください。奥さま。」

【その他】に含まれる用例としては、以下のようなものがある。

(28) 石鹸シャンプー用のリンスは髪に直接つけて良い?洗面器のお湯に溶かすべき?

どちらのやり方でも大丈夫です。

このような用例の場合、「大丈夫です。」は「髪に直接つけて良い？」と「お湯に溶かすべき？」両方に対する応答である。「髪に直接つけて良い？」は【許可求め】であり「お湯に溶かすべき？」は【諾否疑問文】である。前述した通り、本稿では問かけの文法形式に従って分類する。しかし、このような用例は一つの項に分類することが出来ないため、【その他】に分類した。

さらに、次のような用例に関しても補足する必要があるだろう。

(29) できちゃった結婚なのですが、ウエディングドレスを着られますか？
大丈夫です。

(30) 挙式の前に入籍を済ませてないとビーチウエディングはできませんか？
入籍前でも大丈夫です。おふたりの気持ちが、しっかりと向き合える場時間を私たちはご提供させていただきます。

このような用例は、どちらも【可能形の問かけに対する肯定】に分類した。ただし、(30) は正確に言えば【可能否定形の問かけに対する否定】である。しかし、用例数が全 10360 件中 10 件と極めて少数なため、本稿では別項を立てずに【可能形の問かけに対する肯定】に分類する。

また、「筑波」の用例は多様であり、それが利点でもあるが、反対に、問題点でもある。議事録のように、その用例を確かに発話したというある程度の保証があるものと、小説のように、用例が実際の発話に基づいていないものが混在している点は問題である。

本稿のように、実生活でどのように「大丈夫」が使用されているのかを調査するためには、用例の典拠まで明らかにしておく必要があるだろう。

したがって、本稿では、用例を典拠のタイプ別に分類する。タイプは以下の 5 種類である。

- ①ウェブサイトのFAQでの、質問に対する応答
- ②小説の会話文
- ③実際の会話の文字化（インタビューや議事録等、実際にあった会話だと思われるもの）
- ④実際の会話の再現（実際にあった会話だと思われるが、確証がないもの）
- ⑤実際の会話の想定

(16)

次に、①から⑤に当てはまる具体的な用例を以下に示す。

①の「ウェブサイトのFAQでの、質問に対する応答」に当てはまる用例を以下に示す。

- (31) Q：男性でも受験できますか？男性でもモデルになれますか？
A：もちろん大丈夫です。

FAQとは、「よくある質問」と、その回答のことである。主に、企業のホームページで見られた。

②の「小説の会話文」に当てはまる用例は以下に示す。

- (32) 「僕、買ってきます」アンソニーは立ち上がった。
「私も行くわ」
「ひとりで大丈夫です。」
そう言ってにっこり笑いかけると、立ち上がりかけたターニャを座らせ、ひとりで出ていった。

③の「実際の会話の文字化（インタビューや議事録等、実際にあった会話だと思われるもの）」に当てはまる用例は以下のようなものがある。

- (33) 今日もそうですが、そんな意見が出てきたらそういうのを取り込んでいただけるといふ余裕といふのは、企業側としてはおありでしょうか。
荒谷
大丈夫です。そういう話があれば、そういうのを最近やりかけていますが、まだ少しよちよち歩きのです。

③の用例には、雑誌等のインタビューも含まれる。もちろん、インタビューは発言をそのまま掲載しているわけではない。編集者によって編集されているため、該当する発言が確実に発されているかは不明である。

しかし、少なくとも編集の過程でも「大丈夫」が用いられていたということであり、以下に示す④よりは、発言の根拠のレベルが異なるように思える。

④の「実際の会話の再現（実際にあった会話だと思われるが、確証がないも

の)」に当てはまる用例は以下のようなものである。

(34) 母も時々「動く・・動く」と言ってました。そのたびにお店のお母さんは「大丈夫ですよ」と答えてくれました。

④は、主にブログ等で「大丈夫」を使用している用例である。③は発話者が実在し、発話の根拠も一定の保証がある。しかし、④は、あくまで私的なやり取りを書き留めたに過ぎず、発話の根拠があるとは言えない。この点において、③と④は大きな違いがあると言える。

また、④の用例は、過去にあった会話を記しており、会話を録音して文字起こしたようなものとは異なる。したがって、「会話の再現」とした。

⑤の「実際の会話を想定しているもの」に当てはまる用例を以下に示す。

(35) 病人：ギョエー、恐ろしか夢ば、見よつたと。不安じゃー。誰か助けてくれー。
若い看病人：大丈夫ですよ。

⑤は、実際にあった会話ではない。実際の会話を想定して作られた、架空の会話である。また、「もし〇〇と言われたら、『大丈夫です』と言ってください」のように、仮定の用例も⑤に分類した。

6. 「大丈夫です。」の調査結果

「大丈夫です。」の用例は 10360 例である。その内、調査対象となる用例は 1307 例であった。調査対象を用法や典拠によって分類したものが、次の表 5 である。

表 5. 「大丈夫です。」の調査結果

	F A Q	会話 文字化	会話 再現	小説 会話文	会話 想定	計
可能形 肯定	341	2	9	3	1	356
問題ない	252	26	16	10	3	307
諾否疑問文 否定	208	11	9	7	2	237
諾否疑問文 肯定	93	9	12	4	1	119
許可求め 承諾	99	4	0	0	0	103
依頼 承諾	27	1	1	0	0	29
申し出 拒否	0	0	1	2	2	5
勧め 拒否	0	0	2	1	0	3
勧誘 承諾	0	0	0	0	0	0
勧誘 拒否	0	0	0	0	0	0
言いさし	115	5	3	1	1	125
その他	20	1	1	1	0	23
計	1,155	59	54	29	10	1,307

表5でまず目につくのは、「F A Q」であろう。用例数が圧倒的に多く、全体の9割近くを占めている。「F A Q」の用例とは、以下のようなものである。

(36) Q：男性でも受験できますか？男性でもモデルになれますか？

A：もちろん大丈夫です。(再掲)

「F A Q」では、このように、「～できますか？」といった、可能形を用いた問いかけが非常に多かった。そして、用例は問いかけの文法形式に従って分類するため、【可能形の問いかけに対する肯定】も最も多いという結果となった。

「F A Q」で次に多いのが【問題ない】である。該当する用例を以下に示す。

(37) 一人遊びが多いので、友だちの輪の中に入っていけるか心配です。

心配なさらなくて大丈夫です。

以上のように、問題を想定している問いかけも多く、辞書的用法が用いられやすい。

3番目に多いのが【諾否疑問文に対する否定】である。該当する用例を以下

に示す。

(38) 学科講習の後のテストは難しいのですか？

基本的には大丈夫です。

諾否疑問文も、問いかけとして用いられやすいが、否定は肯定の倍以上多いという結果となった。これは、辞書的用法が多いことから分かるように、何かしらの問題を想定しているため、その問題を打ち消す応答が多くなると推測出来る。

しかし、「FAQ」は、ウェブサイト上のやり取りであり、実際の会話ではない。そこで、「実際の会話の文字化」と「実際の会話の再現」を確認すると、どちらも【問題ない】が最も多いことが分かる。

先行研究では新用法が目目されがちではあったが、意外なことに、実際の会話では、辞書的用法が主に用いられていた。

次に、「大丈夫ですよ」の調査結果を、以下の表6に示す。「大丈夫ですよ」の用例数は全2195例あり、調査対象は184例あった。

表6. 「大丈夫ですよ」の調査結果

	会話 再現	F A Q	会話 文字化	小説 会話文	会話 想定	計
問題ない	30	9	23	24	9	95
諾否疑問文 否定	5	8	6	1	2	22
可能形 肯定	4	15	1	1	0	20
諾否疑問文 肯定	5	5	3	1	3	17
許可求め 承諾	2	3	1	0	2	8
依頼 承諾	0	0	1	0	0	1
勧誘 承諾	1	0	0	0	0	1
勧誘 拒否	0	0	0	0	0	0
勧め 拒否	0	0	0	1	0	1
言いさし	6	2	2	2	0	12
その他	1	0	0	0	0	1
計	56	42	37	34	16	184

「大丈夫ですよ」では、「実際の会話の再現」が最も多かった。次に多いのは

「FAQ」だが、「大丈夫です。」のように、圧倒的に多いわけではなく、「実際の会話の文字化」や「小説の会話文」と比べても、大きな差は見られなかった。

その理由として、終助詞「よ」があることで、「大丈夫です。」よりも、会話で用いられやすいことが考えられる。

終助詞「よ」が付随しても、用法は、「大丈夫です。」と同様に、【問題ない】が最も多かった。特に、「実際の会話の再現」や、「実際の会話の文字化」では、用例の半数以上を【問題ない】が占めており、「大丈夫です。」同様、実際の会話では辞書的用法が多く使われていることが明らかになった。

表5と表6から、実際の会話では、辞書的用法が多く用いられていることが明らかになった。終助詞の有無に関わらず、会話では辞書的用法が多く用いられているということは非常に興味深い。

また、「大丈夫です。」「大丈夫ですよ」どちらにも【勧誘に対する拒否】の用例はなかった。

以上のように、コーパスを用いて調査した結果、「大丈夫です。」「大丈夫ですよ」のどちらも辞書的用法が多く用いられていることが分かった。城田(2007)では、「若者も『問題がある』状況が満たされないときは違和感を抱く割合が高く、大学生の用法は親世代の用法からの連続性が見られる」と指摘されていたが、そういった指摘の通り、基本的には問題がある状況を想定した辞書的用法が用いられているようである。

7. コーパスで確認出来なかった用法

「筑波」では、辞書的用法の他にも語用論的用法を確認することが出来たが、【勧誘に対する拒否】の用例は見られなかった。しかし、実生活では確かに用いられている。以下に、ラジオ番組⁽⁹⁾での事例を挙げる。

- (39) A 「焼き肉屋でさ、18年お前と2人で飲み行ってないからさ、ちょっと今日これこの後行かないか？2人でなんか有楽町の居酒屋空いてるとこ見つけてさ。どう？」
 B 「いやそれはちょっと大丈夫よ」
 A 「なんかあんの？この今日は」
 B 「いやいや特にないけどね」

AはBに対して、「一緒に居酒屋に行こう」と誘っており、Bは、「大丈夫よ」

と応答している。ここでの「大丈夫」は【勧誘に対する拒否】である。Aもそれを理解し、何か用事があるのかと尋ねている。それに対し、Bは、特に用事はないと答えている。

このような、「特に用事はない、もしくは、用事を詳しく言いたくない場合」に、「角を立てずに断る」という点で、「大丈夫」は非常に便利な表現なのではないだろうか。

また、さらに興味深い点として、発話者の年齢が、Aが39歳、Bが40歳という点が挙げられる。(2018年放送時点) 芸能人という特殊な職業のため、使用言語が若者に近い可能性もある。しかし、少なくともこの用例だけを見ると、中年層も【勧誘に対する拒否】が使用言語、もしくは理解言語であるということが分かる。

以上、【勧誘に対する拒否】の実例を確認した。この用法は、従来指摘されて来なかったが、実生活では使用する世代の広がりを見せており、新たな用法として定着しつつある。

また、以下のような用例⁽¹⁰⁾も、ここで取り上げたい。

(40) 「Tポイントカードありますか?」「あ、大丈夫です。」

ファミマでのこのやりとり、本当に毎日の小さなストレスでした。以前、これが嫌すぎて、Tポイントカードいりませんマークをつくった事もありました。

これは、カードの有無を問う、単純な諾否疑問文である。「はい」か「いいえ」での応答が自然であるにも関わらず、話し手は「大丈夫です」と答えている。そして、その後の「Tポイントカードいりませんマーク」という部分から、ここでの「大丈夫」は、「カードを作ることに拒否」を表していることが分かる。この一見奇妙なやり取りは、正に尾崎(2016)で指摘されていたような、「自分の不利益を想定して断る」という言語行動の表れである。

しかし、諾否疑問文に対し、先回りして受益を断っているような上記の用法は、やり取りのみを見ると非常に奇妙な印象がある。

このような用法は、単純に、辞書の用法である、「問題ない」や「心配ない」で言い換えることが出来ない。「大丈夫」は、辞書の用法からさらに広がりを見せていると言える。

8. 結論

本稿では、「筑波」を用いた、「大丈夫です」の用法の整理と、新用法の提示を行った。

用例数は「大丈夫です。」が最も多く、応答表現としては「大丈夫ですよ」が次に多かった。調査の結果、どちらの用法でも、辞書的用法が最も多く用いられていることが明らかとなった。実際の会話でも、辞書的用法が多く用いられており、特に、「大丈夫ですよ」では、実際の会話で用いられている用法は、用例の半数以上が辞書的用法であることが分かった。

また、新用法だと思われる、【勧誘に対する拒否】は、「筑波」では該当する用例が得られなかった。そのため、実例を提示し、実際に用いられていることを明らかにした。

本稿では、実態調査が目的のため、用例を提示するまでに留めたが、今後は、「大丈夫」の用法について、なぜ【勧誘に対する拒否】が用いられるようになったのか、その理由も考察したい。また、アンケートを用いて、年齢や性差、使用に関する意識も積極的に調査したい。さらに、「大丈夫」には【勧誘に対する拒否】と【勧誘に対する肯定】両方の用法が存在しており、拒否になる場合と肯定になる場合でどういった違いがあるのか、フィラーや終助詞の調査、受益者の違いに関する調査など、より詳しく考察していくことも今後の課題とする。

注

- (1) 「サンドウィッチマンライブツアー 2015」2016年 エイベックス・ピクチャーズ
- (2) <https://www.youtube.com/watch?v=HHEQfh2rKI8> (2019年7月6日)
- (3) 『日本国語大辞典』第2版(2003) 小学館
- (4) 『明鏡国語辞典』第2版(2010) 大修館書店
- (5) https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q10112556805?__ysp=5aSn5LiI5aSrIOaWreOCiw%3D%3D (2019年1月10日)
- (6) https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q111108749076 (2019年1月10日)
- (7) https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q12130570927?__ysp=5aSn5LiI5aSrIOaWreOCiw%3D%3D (2019年1月10日)
- (8) 「大丈夫です」の後に続く文字を一文字ずつ調べた。aには50音や(、。等の記号が当てはまる。

- (9) オードリーのオールナイトニッポン 2018年3月31日放送 ニッポン放送
 (10) <http://sato-nezi.hatenablog.com/entry/2014/06/23/085454> (2018年12月11日)

参考文献

- 石田かおる (2016) 「若者語『大丈夫です』は YES なのか NO なのか」『AERA』
 2016年2月15日増大号 62-63
- 井上優 (1993) 「発話における『タイミング考慮』と『矛盾配慮』—命令文・依頼文
 を例に—」333-360『研究報告書14』国立国語研究所
- 尾崎喜光 (2016) 「『大丈夫です』の用法の拡大に関する研究—不利益を想定して気
 遣う言語行動—」『清心語文』1-13
- 梶原しげる (2017) 「『大丈夫』は本当に万能語？誤解や不快にご用心」
<https://style.nikkei.com/article/DGXZZO21485280V20C17A9000000?channel=DF180320167076&page=3> (2019年1月24日)
- 川口良 (2017) 「若者ことばに見る(間)主観化について—『大丈夫』の新用法に注
 目して—」『文教大学文学部紀要』31(1):37-57
- 菊池律之 (2018) 「日本語母語話者と日本語学習者の使用表現の差異の分析：日本語
 教育への応用のために—「大丈夫です」「～ぐらい」「かぶる」を中心に—」『天
 理大学学報 語学・文学・人文・社会・自然編』69-02:1-15
- 城田麻里子 (2007) 「『大丈夫』の用法の変化について」『東京女子大学言語文化研究』
 16:103-109
- 砂川有里子 (2005) 「コーヒーで大丈夫ですか？」北原保雄編『続弾！問題な日本語』
 28-31 大修館書店
- 高橋宗一郎・竹下浩子 (2014) 「若者言葉から見る配慮とは—「大丈夫」についての
 考察—」『日本語教育と日本研究における双方向性アプローチの実践と可能性
 第9回国際日本語教育・日本研究シンポジウム大会論文集』433-443 ココ出版
- 田中伊式 (2018) 「『大丈夫』の境界線」『放送研究と調査 2018年9月号』37 NHK
 放送文化研究所
- 宮本茂頼 (2015) 「『大丈夫です』って、なにが大丈夫なの 気配り表現？言葉の乱れ？」
<https://withnews.jp/article/f0150215000qq00000000000000W01o1101qq000011475A> (2019年1月24日)
- 山下早代子 (2013) 「今どきの『大丈夫です』—その使用実態—『大丈夫です』は若
 者ことばか？～」『明海日本語』18:285-312

(あしき あやこ・実践女子大学大学院 平成30年度修了)